

注目ポイント！

拠点整備により、観光地としての核を構築。
外国人をもてなす環境の整備。



酒田市の観光客数約110万人(平成14年度)から約238万人(平成16年度)に！
外国人観光客入込数が約2,500人(平成14年度)から約4,400人(平成17年度)に！



山居倉庫とケヤキ並木

コラム

山居倉庫は現役の農業倉庫であり、長時間滞在する観光地ではなかった。また、旧家や寺院の所有する文化財は展示場所がなく、維持保存が危ぶまれていた。

市では、観光拠点と文化財展示の場所の整備に取り組み、趣旨に賛同した農協から、倉庫2棟を入手。夢の倶楽(くら)が完成。運営を酒田観光物産協会に委託。展示品のディスプレイは全国の大賞を受賞するなど、細部まで行き届いた運営が図られている。



酒田観光物産協会
会長 齋籐 成徳氏

これまでの経緯

- | | |
|-------------|---|
| 昭和51年(1977) | 酒田大火により、中心商店街の半数を焼失。市民の努力により2年間で復興する。 |
| 昭和58年(1983) | NHK連続テレビ小説「おしん」が放送される。 |
| 平成11年(1999) | 「国際交流サロン」を開設する。 |
| 平成15年(2003) | 「さかた海鮮市場」オープン。 |
| 平成16年(2004) | 「酒田夢の倶楽」オープン。
「さかた街なかキャンパス」オープン。
「酒田観光協会」と「酒田物産協会」が合併し、「酒田観光物産協会」になる。 |
| 平成17年(2005) | 酒田市他3町が合併し、酒田市となる。 |
| 平成18年(2006) | 「酒田まちづくり・まちなかサロン」を開設する。 |

主な取り組み

中心市街地の活性化

さかた街なかキャンパス等の空き店舗の活用や起業を支援。高速交通体系の整備を活用し、観光での交流促進のため施設整備も活性化対策の柱。風光と歴史的建物が残る酒田市は、景観法に基づき計画を策定し、景観に配慮したまちづくりに取り組む。



さかた街なかキャンパス

新たな施設による観光客の増加

平成15年に酒田港に「さかた海鮮市場」を整備し、平成16年に山居倉庫のコメ保管用倉庫を改装した「酒田夢の倶楽」を整備。夢の倶楽は人形作家辻村寿三郎氏の作品展示、茶屋の復元、飲食・観光案内施設等で構成。2施設が中核となり誘客に貢献。完成前の市内年間観光客は110万人に対し、完成後は238万人。



酒田夢の倶楽

海外からの観光客への配慮

NHK連続ドラマ「おしん」は海外でも人気があり、奉公先の舞台である酒田への外国人観光客が増加。イベントにおける外国語併記の案内看板、パンフレット等の作成や、国際化のための「国際交流サロン」を開設し、年に一度「国際交流サロンまつり」も開催。



国際交流サロンまつり

酒田歳時記まつり事業

港町酒田の四季折々の祭りや各種イベントを一年を通して実施し、県内外からの誘客を図る。酒田の伝統を活用し、酒田雛街道では、旧家等に残る雛人形を観光施設や商店街等で展示。また、外国人観光客向け資料も作成し、誘客を推進。



酒田歳時祭り

問い合わせ先

酒田市観光物産課

Tel : 0234 - 26 - 5759

<http://www.city.sakata.yamagata.jp/kankou/>

酒田商工会議所

Tel : 0234 - 22 - 9311

<http://www.sakata-cci.or.jp>

社団法人酒田観光物産協会

Tel : 0234 - 24 - 2233

<http://www.sakata-kankou.gr.jp>